

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

課題番号	STSC19017
研究開発課題名:	THz 分光による廃棄物プラスチック分別技術システムの構築と顧客価値の検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	東北大学 大学院工学研究科 准教授 田邊 匡生

1. SCORE での活動目的

廃棄物リサイクルでは先進技術の社会実装が遅れている。国内外における環境汚染の原因として、大きな問題になっている廃棄プラスチックの課題を解決するために、THz 分光という技術シーズを用いたビジネスモデル仮説を策定するとともに、顧客ヒアリングを進めて、ビジネスモデルの現実化・高度化を図る。具体的には混合廃棄物に多く含まれている資源と危険物・有害物をリサイクルプロセスの現状とあわせて把握し、THz 分光で分別する技術システムに必要な計測条件とその顧客価値の検証に取り組む。THz 分光による廃棄プラスチックの分別技術を情報提供する大学発ベンチャーの立ち上げと新リサイクルの設計基盤を世界に提供することを目指す。

2. 総合所見

ニーズの高いインドや、国内でのヒアリングを通じて課題を把握し、適切で積極的な仮説検証活動を行ってビジネスモデルを構築している点と、廃棄プラスチックの選別だけではなく、事故防止のための発火性電池検出のニーズを発見し、事業としての価値や実現性を高めた点も高く評価する。

以上